



灯籠が照らしたす、肘折温泉1201年目の夏。

カルデラの底に
水の街が見える、灯が揺れる

肘折温泉は千年を越える歴史をもち、
いまも湯場の面影をとどめる温泉です。
はるかな一万年の昔に生まれた、
半径一キロのカルデラの底に、
旅館や商店が建ちならんでいます。
湧きいづる恵みの湯とともに、
人びとは長い歳月をこの地に生きてきました。
月山登拝口のひとつであり、
修験道とのかかわりが深く、
いまも季節ごとに修験の祭りがいとなまれています。

その、ひなびた温泉街を舞台として、
わたしたち東北芸術工科大学との提携のもとに、
「東北ルネサンスin肘折」という
プロジェクトが動きだしています。
古来より、温泉は「もてなしの文化」をもち、
ひそかな芸術や文化の創造の現場で
ありつづけてきました。
その温泉という場所が
秘める伝統の力を呼び覚ましながら、
肘折温泉郷を「まるごと美術館」として
デザインしてみたい、そんな欲望に駆られています。
そこから、あらたな湯治のスタイルが
生まれてくるかもしれません。

この夏、ふたたび「ひじおりの灯」が、
やさしく夜の温泉街を彩ることになります。
ひとりでも多くの人たちに、
あたたかい肘折の誕生に立ち会ってほしい、と
心より願っています。

赤坂憲雄 東北芸術工科大学 本学長

第2回 灯籠絵鑑賞会 東北ルネサンスプロジェクト事業
ひじおりの灯
HIJIORI Light project

2008年7月13日(日)〜8月20日(水)
山形県最上郡大蔵村肘折温泉

※ 実行時間：18時30分〜20時 ※ 雨天・強風時は点灯しない場合があります。
※ 点灯開始：7月13日(日) 18時30分 精霊瀧し8月17日(日) 19時
※ 点灯終了：7月14日(月) 13時 高打鐘 7月18日(木) 20時30分
※ 主催：東北芸術工科大学 肘折温泉郷 (3町5村) 協賛：肘折温泉郷 (3町5村)
協力：アーツセンター 山形県立博物館 (3町5村) www.takeda-art.jp/museum



【交通のご案内】
バス：山形県観光バス協会の肘折温泉バスで約75分。
※ 山形駅から大蔵村1号、大蔵村1号から肘折温泉まで約40分。
山形県立中央図書館、大蔵村中、大蔵村南で約10分。
【お問い合わせ】
東北芸術工科大学東北芸術工科大学 肘折温泉郷
〒992-9532 山形県最上郡大蔵村1-1-1
TEL 023-627-2043/FAX 023-627-2085
mcc@art.jp.ac.jp